

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日更新

事務事業名		都市学校教職員各種事業団体参画事業						☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実					所属課	学校教育課	担当者名	小松 慧
	施策の柱	32	指導力の向上					所属班	学務指導班	(内線)	2227
予算科目		会計一般	款10	項2	目1	事業連番10708 他	根拠法令	なし	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池郡内で組織する教育推進のための各種団体に対し負担金を支払うことで、都市の教育振興を図る。 事業団体名・・・小学校体育連盟、中学校体育連盟、合志市文化祭、中学校英語暗唱大会
【業務の流れ】	各団体から請求があった負担金について支払事務を行う。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 市内の児童生徒が参加する各種大会等の企画運営を行い、都市の教育の振興を図った。		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 各団体に対して負担金を納入する。(予定団体名：小学校体育連盟、中学校体育連盟、合志市文化祭、英語暗唱大会)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由 平成29年度は全国中体連熊本大会(陸上・サッカー)が開催されるため、中学校体育連盟負担金の増額。
⇒ ア: 年間の大会開催回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ⇒ ア: 市内10小中学校の教職員数
各小中学校教職員	人	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ⇒ ア: 大会等に参加した児童・生徒の割合
各種大会等の企画運営を行い、都市の教育の振興を図ってもらう。	%	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
多くの児童生徒に各種大会等に参加してもらう。		
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	アイ回		4	4	4	4	4	4	4	4	
② 対象指標	アイ人		463	520	530	530	540	550	560	570	
③ 成果指標	アイ%		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	950	988	1,304	1,223	1,930	1,110	1,110	1,110
		(A)事業費計	千円	950	988	1,304	1,223	1,930	1,110	1,110	1,110
		(A)のうち指定経費	千円	950	988	1,304	1,223	1,930	1,110	1,110	1,110
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	2	0	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	500	50	54	0	54	54	54	54
		(B)人件費計	千円	1,992	185	215	0	215	215	215	215
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,942	1,173	1,519	1,223	2,145	1,325	1,325	1,325	

事務事業名	都市学校教職員各種事業団体参画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市内の児童生徒は、各団体の実施する事業（文化祭や小・中体連）に必ず参加するよう働きかけを行う。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 すでにすべての児童生徒が大会等に参加しており、成果指標も100%のため、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はなく、統廃合・連携は行えない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金については必要実経費の計上であり、支払いに係る事務経費についても必要最小限であるため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 各団体への負担金を支払う業務であり、運営等についてはそれぞれの団体が行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内すべての小中学校で活用される負担金であり、一部の個人又は団体が利益を受けるものではないため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市町における事務は負担金の支払いのみであり、各団体の業務に関してはそれぞれの団体が実施しているため、役割分担としては適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

負担金が適正に支払われることで、郡市内の児童生徒が参加する各種大会等が企画運営され、教育の振興が図られた。本年度においては、熊本地震の影響で各種大会等の会場が変更になるなど例年になく対応であったが、それぞれの団体において適正に負担金を使い、児童生徒の教育に有効利用された。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）									コスト		
									削減	維持	増加
					成果	向上					
						維持					
						低下					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策											